

夏  
2023

学びと  
健康を  
支える

**Jkk** NEWS

jkkcoop.net



第1回  
インクルーシブ教育  
教材コンテスト  
開催決定

特集

「インクルーシブ教育 教材コンテスト」開催決定！主催者特別対談  
..... 筑波大学附属大塚特別支援学校 研究主任兼教務主任 佐藤 義竹  
..... 全日本学校教材教具協同組合 理事長 小林 広樹  
ニューノーマルな時代に求められる特別支援教育に必要な教材・教具とは  
..... 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部 主任研究員 織田 晃嘉  
ユニバーサルスポーツ「フロアボール」の魅力  
..... T3 FLOORBALL PROJECT 副代表 高橋 由衣  
思いをカタチに！スクラボオリジナル教材



ご好評いただいております！

アイデアと思いを込めた  
手作り教材大募集！

インクルーシブ教育  
教材  
コンテスト

2023年 冬 開催決定

あの子の教材をみんなの教材に、  
共にインクルーシブ教育を推進するために。

**10月中旬作品募集開始予定**

（お問い合わせはこちら）  
インクルーシブ教育 教材コンテスト事務局  
E-mail : info@inclu-kyouzai.com

主催 全日本学校教材教具協同組合  
筑波大学附属大塚特別支援学校

応募方法などの詳細は2023年9月頃にホームページまたは  
チラシ等でご案内させていただきます。

当組合は、子どもたちの「未来」のために先生方の「いま」をサポートするための活動を製品開発や流通を通して  
行っております。先生方の日常にあるお困りごとや  
ご要望と一緒に解決していきましょう！

先生方の  
教材・教具と保健室に対する  
生の声を  
お聞かせください！

jkkcoop.net/contact

「JKK NEWS夏号」への寄稿をご快諾いただきました。（独）国立特別支援教育総合研究所 織田様、T3 FLOORBALL PROJECT 副代表 高橋様、またインクルーシブ教育 教材コンテストにおいて  
対談させていただきました筑波大学附属大塚特別支援学校 佐藤主任、皆様にご心より感謝申し上げます。（JKK NEWS事務局）



「インクルーシブ教育 教材コンテスト」開催決定！主催者特別対談

アイデアがカタチになる  
手づくり教材の新たな舞台

## 筑波大学附属大塚支援特別支援学校

幼稚部、小学部、中学部、高等部を設け、知的障害のある幼児・児童・生徒に対する教育を行う特別支援学校。1960年の開校から、幼児・児童・生徒一人ひとりに応じた教育や知的障害教育の理論及び実践に関する研究を行っています。

## 全日本学校教材教具協同組合（JKK）

1962年創立。学校教材教具の開発・普及を行う、組合員約450社が集まった協同組合。子どもたちの深い学びにつながる教材・教具や情報先生方へお届けしています。  
JKKのカタログ  
[SQLabo (スクラボ) 教材総合カタログ]  
[SQLabo (スクラボ) 特別支援教育教材カタログ]  
[SQUIL 保健福祉カタログ]

全日本学校教材教具協同組合（JKK）  
理事長

小林 広樹

筑波大学附属大塚特別支援学校  
研究主任兼教務主任

佐藤 義竹

Q. 「インクルーシブ教育 教材コンテスト」  
開催のきっかけは何ですか？

佐藤 2019年12月、中国湖南省で特別支援の先生向け研修会が実施された際、会場に100点以上の教材が展示されていました。教材には一つ一つマニュアルがついており、マニュアルにはシールが貼られているものもありました。これらの教材は研修期間中展示されており、研修会に参加した先生方が良いと思ったものにシールを貼っているということでした。シールを最も多く獲得した教材の制作者には賞金が出るということで、私は先生方がお互いに審査するという仕組みや賞金が出るという内容に大変驚きました。そこで、もし同様の取り組みが日本で行われたら先生方の励みや、やりがいにつながるのではないかと考えたのがきっかけです。

Q. 全日本学校教材教具協同組合（JKK）で  
開催しようと思ったのはなぜですか？

小林 私たちJKKの使命は、全国の学校の先生方に子どもたちの深い学びにつながるような教材・教具をお届けすることです。



先生方が子どもたちのために考え抜き、制作した教材を、JKKの広報やネットワークを使うことで、より広く全国に伝えられるのではないかと考えました。先生方が教材を作る原動力の一つにこのコンテストがなればよいと考えています。

Q. コンテストを特別支援教育に  
特化したのはなぜですか？

佐藤 理由は2つあります。1つ目は私自身が特別支援でさまざまな子どもたちへの支援指導をしてきたこと。2つ目は、少し大きな視点で見た際、特別支援学校の教材は特別支援学校の中だけでなく、小学校から高校まで応用ができるという点です。子どもたちが主体的な学習に取り組むことのできる教材をこの企画を通し発信していければと思います。

小林 私たちが今まで作ってきた教材は、たとえば地球儀や黒板など1つの教材が、対20～30人の児童・生徒の役に立つものです。特別支援教育は個別最適な学びですからオリジナル性があります。その子のためにつくる教材は、より特別なニーズにマッチした教材になりますので、多様性のある教材がコンテストに出展されることになりそこに魅力があると思います。

## Q. 出品する教材の条件はありますか？

佐藤 詳細については今後の検討が必要ですが、材料を1から集め0から作った教材から、市販にあるものに先生方が工夫を加えたものまで含まれてくると思います。また、アプリの活用も同様です。今回大事なのは、教材やツール、手立てに私たち指導者がどんな願いや思いを込めて実際の指導支援に活用したかということで、それを明らかにしたうえで、ご応募いただくという流れになるとよいと考えております。

詳しくは  
こちらからQ. どのような先生方に  
ご応募いただきたいですか？

佐藤 勤続年数や立場に関わらず、現場でさまざまな子どもたちの指導支援・教育活動をしている先生方に、どんどんご応募していただきたいと思います。また、担任の先生だけではなく、保健室の先生や管理職の先生、特別支援教育の支援員の方にもぜひご応募いただきたいです。

Q. JKKの組合員はどのようなサポートが  
できると思いますか？

小林 私たちの組合員は全国におり、毎日学校にお伺いしていますので、指導者側の思いを届けられるよう、まずは私たちのネットワークを駆使し、情報を広く届けていくことが役割だと思っています。組合員のお届けした情報が、ご応募のきっかけや教材づくりのきっかけになるとよいと思います。

Q. コンテストに先生方が参加される魅力は  
何ですか？

佐藤 子どもを丁寧に見て、時間をかけて作った教材を、先生の手元だけにとどめておくことはもったいないと思います。今回の企画を通して教材を発信することが、教材や作り手の思いを繋げ広げていくと思いますので、それが大きな魅力と考えています。

小林 ご参加いただくと、先生方が子どもたちに接する際の課題を解決する糸口を見つける場所ができると思います。先生方個別のアイデアが集まるベースになると、大きな魅力になると思いますのでそこを目指していきたいです。

## Q. コンテストの賞金はありますか？

小林 はい、私たちはアイデアをカタチにできる組合です。組合としてコンテストを実施することで、たとえば私たちの発行しているカタログに受賞作品を掲載することを前提とし、産学連携した製品の開発を一緒に行っていければと考えています。また、優勝された方には子どもたちのための教材の購入券を10万円分お贈りしようと思っています。その他にも賞は検討していく予定です。

Q. コンテストにかける意気込みを  
教えてください。

佐藤 今回の企画は私だけが考えていたのでは夢に過ぎなかったと思います。これが夢で終わらず具体的なカタチになったのは、JKKの皆さんが私の想いに気づきをもって声をかけてくれたからです。今回の企画は1回で終わることなく、来年、再来年と実施することによって全国で指導支援されている先生方と繋がっていく場となっていければと思います。

小林 私たちは、先生方とともに子どもたちの成長と学びを支えるという使命をもち、産業界からも学校や世間に働きかけてまいります。先生方の思いが産業と連携することの橋渡しをすることに産学が連携し、教材づくりの新しい形をつくれればよいと思います。日本はモノづくり大国です。モノづくりには作成者の権利もありますので、コンテストでは運営面やサポート面も充実させてまいります。多くの先生方のアイデアをお待ちしております。



## ニューノーマルな時代に求められる 特別支援教育に必要な教材・教具とは



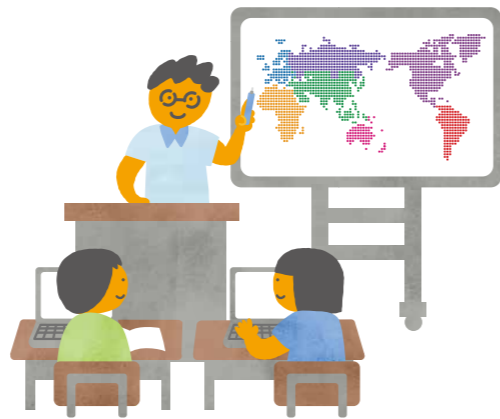
独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所  
情報・支援部 主任研究員

織田 晃嘉

特別支援学校に勤務し、肢体不自由児への ICT 活用を中心に実践と研究を進める。今年度より「知的障害のある児童生徒に対する系統的なプログラミング教育推進のための先導的研究」の代表として特別支援教育におけるプログラミング学習の研究を行なっている。

### はじめに

今回、ニューノーマルな時代に求められる教材というテーマをいただきました。特別支援教育の教材に関して求められるニューノーマルとは何かを考えると、やはりデジタル教材ということになるでしょう。令和元年度より始まった GIGA スクール構想により、全国の小学校・中学校（特別支援学校小学部・中学部を含む）には 1 人 1 台端末の整備が進みました。そのような時代背景を踏まえ、特別支援教育における教材について確認したのちに、ニューノーマル時代に求められる教材の在り方を、デジタル教材を中心に考えていきます。



### 特別支援教育における教材 学習と発達を支援する媒体として

まず、教材という言葉の定義について確認していきましょう。教材とは『広辞苑第 7 版』には「教授・学習の材料。学習の内容をいう場合と、それを伝える媒体を指す場合とがある。教材研究の場合は前者、教材作成は後者になる」とあります。また、平成 25 年 8 月の「障害のある児童生徒の教材の充実について 報告」<sup>※1</sup>には「障害のある児童生徒について将来の自立と社会参加に向けた学びの充実を図るためには、障害の状態や特性を踏まえた教材を効果的に活用し、適切な指導を行うことが必要」とあります。「障害の状態や特性を踏まえた」活用とは、特別支援教育にとっては重要な位置を占める自立活動の目標である「障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服」を達成するための活用と言えます。特別支援教育において、学習内容を伝えるための媒体としての活用には子どもたちの発達を支援する媒体としての活用も含むものと考えてよいでしょう。

また、GIGA スクール構想の目的<sup>※2</sup>として、「1 人 1 台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する」ことと併せて「これまでの我が国の教育実践と最先端の ICT のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す」とも記されています。特別支援教育における「これまでの我が国の教育実践」と 1 人 1 台端末を代表とする「最先端」の実践の「ベストミックス」の在り方を考えていくことが求められていると言えます。



※ 1 [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/tokubetu/material/1339114.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1339114.htm)  
 ※ 2 [https://www.mext.go.jp/content/20200625-mxt\\_syoto01-000003278\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20200625-mxt_syoto01-000003278_1.pdf)  
 ※ 3 スクラボ特別支援教育教材カタログ 2022-2023 (p.31 ~) に掲載  
 ※ 4 <https://www.playosmo.com/ja/> ※ 5 <https://mabeee.mobi/>

## 具体物と一緒に活用するデジタル教材の例 Osmo と Mabeee

特別支援教育における「これまでの我が国の教育実践」においては、子どもの発達の支援が重視されてきました。適切な支援のためには発達の順序性に沿って適切な教材を提供することが大切になってきます。紙幅の制限もあるので、発達と教材についての詳細はスクラボ特別支援教育教材カタログの特集「発達が初期段階にある子どもたちへの教育支援」<sup>※3</sup>をご覧ください。発達が初期の段階の子どもたちにとって自分の手で具体物を操作することが認知の発達に重要な要素となりますが、1 人 1 台端末として導入されたタブレットでは操作に触覚的な手がかりが少なく、反応も視覚的な情報为主であるので、自分の操作による因果関係の理解が難しいという面があります。ここでは、発達が初期の段階にある子どもが操作を実感でき、達成感を感じることでできる教材として、具体物を操作してタブレットでの反応を楽しむ教材として「Osmo」<sup>※4</sup>を、タブレットを通じて具体物を操作する教材として「Mabeee」<sup>※5</sup>を紹介させていただきます。

Osmo は画面を直接タップして操作するのではなく、用意されたブロックを組み合わせたリ、紙に書いたり、周りのものや自分の手や指をカメラで写すといったように具体物や身体によって学習を進めていく教材です。アプリの内容も、計算から物理、プログラミングと多岐にわたり、それぞれが難易度やヒントの設定も細分化されているため、個別に最適化された学習に取り組むことが可能です。また、画面構成がわかりやすく、ゲーム的な要素も多く取り入れられているので子どもが達成感を持って楽しんで取り組みます。

Mabeee は乾電池型のデバイスで、タブレットのアプリを通じて乾電池のオンオフや電圧の操作を行うという教材です。単 3 電池で作動する機器であれば基本的にどのような機器も操作が可能です。実際の機器が動くということは子どもの因果関係の理解を促進し、何より達成感を感じることができます。学習の内容や目的に応じて動作させる機器を選ぶことでより効果的な学習を行うことができます。



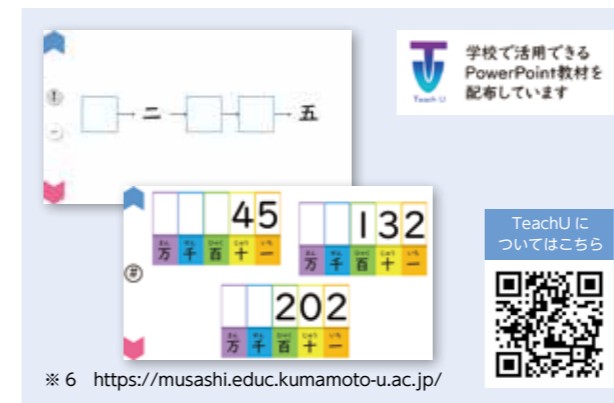
Osmo



Mabeee

## カスタマイズできるデジタル教材の例 Teach U

GIGA スクール構想以前から特別支援教育の現場でも教材としてプレゼンテーションソフトウェアが広く活用されてきました。活用方法としては、教員が大きな画面で情報を提示するために使用される他に、ソフトウェアの各種機能を駆使して児童生徒が操作できるインタラクティブなデジタル教材が多く作られてきました。今回紹介する「Teach U」<sup>※6</sup>は代表的なプレゼンテーションソフトウェアである Microsoft 社の PowerPoint で作成した教材を中心に、特別支援教育で活用できる数多くの教材を公開しています。加工可能なデータファイルで提供されているため教材をカスタマイズすることが可能です。また、さらに教材の作成を支援するために各種の動作をまとめた「TU Parts」も用意されています。用意されたデータファイルに学校や家族、友達の写真、好きなキャラクターのイラストなどを入れることでより身近に感じる教材を作成したり、学習状況に応じてスモールステップで教材を作成したり、子どもの実態や学習内容に合わせたカスタマイズを行うことで、子どもたちがより積極的に学習に参加する環境を整えることができます。



※ 6 <https://musashi.educ.kumamoto-u.ac.jp/>

### さいごに

ここまで特別支援教育において活用されるデジタル教材の一部を紹介させていただきました。デジタルであっても適切な教材を提供するためには子どもの実態把握が重要であることは変わりありません。これからも皆様が子どもたちに最適な教材を提供し、より充実した支援や指導に取り組まれていくことを期待しております。

# ユニバーサルスポーツ「フロアボール」の魅力



T3 FLOORBALL PROJECT 副代表  
 横浜国立大学大学院教育学研究科修士  
 教員免許（小学校、中高体育）取得、日本語教育コース修了  
 2021年スウェーデン教員免許取得  
 スウェーデンフロアボール協会フロアボール指導者資格取得（基礎レベル）  
 スペシャルオリンピックス日本認定フロアボールスポーツトレーナー  
 元フロアボール日本代表 国際フロアボール連盟選手会委員

高橋 由衣

横浜国立大学大学院卒 教育学修士。  
 小学校でフロアボールと出会う。  
 15歳で日本代表に選出され、以後世界選手権に8大会出場。2011年、フロアボールの本場スウェーデンに移住。現地でスポーツ教育を学んだ後、日本語教師として働きながら競技に励んだ。日本・スウェーデン両国で教員免許を取得。

## フロアボールとは？

アイスホッケーから氷とスケートと防具を引いたようなスポーツで、プラスチック製のスティックでボールを打ち、相手のゴールに入れて得点を競う室内ホッケーです。防具を着けないため基本的には体の接触は禁止されており、比較的安全なスポーツと言われています。日本ではマイナーですが、ヨーロッパを中心に世界78カ国で親しまれています。スティックとボール、室内シューズさえあれば誰でも始められる手軽さ、取り組みやすさから、特に北欧諸国の小学校や学童等では人気種目として根付いています。

ゴールにはいろいろなサイズがあり、コートやゴールキーパーの有無に合わせてサイズを変えられます。



子どもから大人まで楽しめる

### 試合人数

フィールドプレイヤー：5人  
 ゴールキーパー：1人  
 ミニコートやミニゴールでも楽しめます  
 その際は人数を減らしたりゴールキーパー無しにすることが多いです

### 試合時間

3ピリオド制  
 1ピリオド 20分  
 1ピリオドを15分とする短縮版もあります

## フロアボール用具

UNIHOOC PRO スティック  
 80cmと90cmの2サイズ



UNIHOOC ミニゴール  
 プラスチック製の軽量ゴール  
 折りたたみ式で簡単設置  
 90 × 60cm



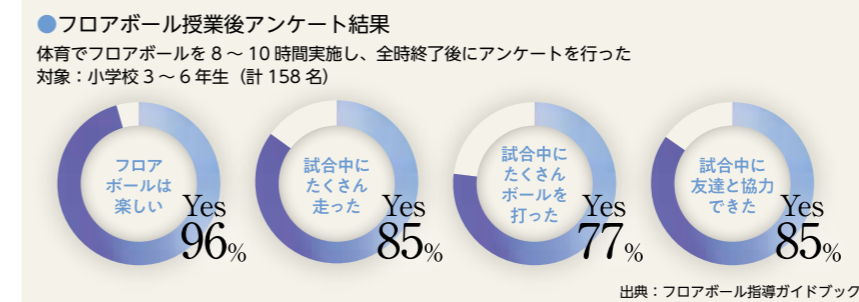
UNIHOOC 公式球 ダイナミック  
 プラスチック製で複数の穴が空いています  
 φ 7.2cm



## 学校の授業におすすめの競技

フロアボールの特徴のひとつに、ルールがシンプルという点があります。「スティックを振り上げない」「敵を押さない」などの簡単なルールを守れば、始めたその日からゲームをすることができます。

小学3～6年生を対象に行なった調査（2019年）では、フロアボールは運動に対する自信「運動有能感」の高低に関わらず、誰もが楽しめる競技であるということが示されました。これはフロアボールがほとんどの児童にとって初めて挑戦するニュースポーツであるということが大きく影響しているでしょう。運動に自信がある子どもでない子ども、スタートラインが同じということで苦手意識を持たずに取り組めるのだと思います。さらに同調査では「フロアボールの試合中にたくさん走りましたか？」という質問に対して、85%の児童が「はい」と答えており、このことから多くの児童が運動量をしっかり確保できるスポーツであることが期待できます。2017年、フロアボールはスペシャルオリンピックス世界大会の正式種目として実施されました。現在日本でも、知的障害のあるアスリートと知的障害のないパートナーがチームメイトとなり一緒にプレイするユニファイドスポーツ® という形で行われています。小学校でも似たような取り組みができるのではないかと考えています。



たくさん走るよ！

## 低学年から高学年まで楽しめるスポーツ

これまで小学校の全学年でフロアボールを実施してきました。低学年はスティックでボールを打ちフロアボールというスポーツを楽しむこと、高学年では作戦を考え仲間と協力することなどを目的に加えて授業を実施しています。

フロアボールのボールはプラスチック製で軽いためスピードが出ます。そのため初めは、ボールが速すぎて小さい子どもたちにはついていけないのではと心配されます。ですが体験されると、ボールが速いからこそみんながボールに触れることができ、ゲームに参加している実感が持てると思ってもらえます。また「運動能力が低い子や、距離感がつかめない子がサッカーをするとボールではなく敵の足を蹴ってしまうことがあるけれど、フロアボールの場合スティックがあるので距離感が掴みやすく安全であると感じた」という声もあります。体験後は「思ったよりも安全で簡単ですね！」と言っただけのことが多く、これから小学校でもフロアボールが広がることを期待しています。

## フロアボール Q & A

Q どの国で盛んなの？

A 特に盛んなのはヨーロッパで、スウェーデン、フィンランド、スイス、チェコがフロアボール界の4強です。

Q 道具を揃えるのにいくらぐらいかかる？

A スティック1本約5,000円、ボール1個約300円。チームのためのスタートセットがスティック12本+ボール6個入りで24,000～40,000円です。

Q 日本での競技人口はどれくらい？

A 国内競技者は約1,000人です。

出典：フロアボール指導ガイドブック



# 思いをカタチに！スクラボオリジナル教材

私たちが特別支援教育の教材カタログを始めた 2016 年当時、掲載されていた商品は特別支援教育専用の、高価で機能性のみを追求した製品が多かったように思います。そこで「スクラボ特別支援教育 教材カタログ」では、同様の機能性を持たせながらもワクワクする安価な教材を載せたいと思い、昼夜おもちゃ屋さんや幼児教育を含めたいろいろな市場製品を調べ、使い、集めました。今では、家庭から学校、教育委員会、先生方個人などさまざまな方から、カタログや製品のご要望をいただきます。今回は、そんなカタログの中から、現場の思いを込めたオリジナル製品をご紹介します。

特別支援教育 教材カタログ  
詳細はこちら



## ユニボッチャ rotolo (ロトロ)

オリンピック・パラリンピック教育が始まる中、人気が高まったボッチャは非常に良いスポーツですが、価格が高く授業で教材として導入することが難しいものでした。そこで、導入教育に使える安価で使いやすい商品を目指し開発を始めました。



正規版より一回り小さいサイズで  
子どもの手にも馴染みやすい

空気入れの  
必要なし



ホコリが吸着しにくい  
サンドプラスト加工

出前授業承ります



### 製品のこだわりポイント

- 1年かけて実現したプロのボールと同じ転がり
- 握りやすさ
- メンテナンスが楽



722-036 p.148 掲載  
¥19,000 (税込¥20,900)

## スモールステップ時計

「次の授業は〇時〇分からはじめます」と黒板に書いて伝えることがあります。そのとき、文字や数字だけでなく、視覚的な時計カードがあれば、子どもたちも見通しをもちやすくなります。しかし、長針・短針が動かして、マグネットで貼ることのできるものはありませんでした。そこでインターネットで素材を探し、パネルを切り貼りして時計カードを手づくりしたことが教材開発のきっかけとなりました。活用のしかたは多様にあります。大きな黒板だけでなく、手元の小さなホワイトボードで提示する際にも便利なツールで、その名の通り、子どもたちの理解に応じてスモールステップで活用を図れます。



### 製品のこだわりポイント

- 達成感が嬉しい教材
- スモールステップで学べる



カラーからモノクロに  
推移していることも

段階的に学習を進める  
一つの仕掛け

723-681 p.306 掲載  
¥19,800 (税込¥21,780)



## ハートブリッジ フェルト教材

手指のトレーニングに必要な機能を兼ね備えた着衣枠メーカーの廃業を受け、この教材に代わるもの！ということから、ハートブリッジの前段階の、学習にも使える安価な教材を目指し開発を始めました。

### 製品のこだわりポイント

- 興味を持ってもらえる素材・題材・数
- 作業療法士と一緒に作った「やさしいボタン」
- 基本から応用まで 多角的に何度も使える教材

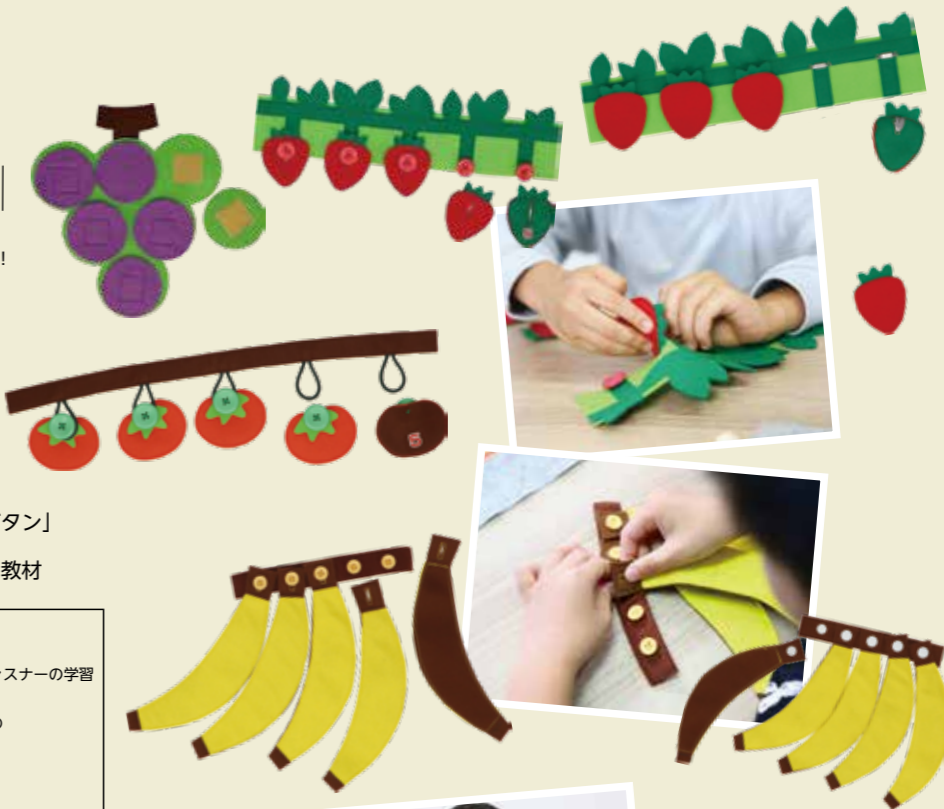
(例)

基本学習

ファスナー・ボタン・ホック・ループ・スナップ・面ファスナーの学習

アレンジ学習

- 数の学習：フェルト教材は数の勉強、教材を見比べでの数合わせなど行うことができます。
- 果物狩り：いちごのホックはマグネット付き。黒板に貼れば、いちご狩りが楽しめます。
- お店屋さんごっこ：ハンバーガーの具材は自分好みにアレンジでき、順番に挿んだり、オーダー通りに作るなど学習できます。
- いちご詰め：空き箱があれば中を区切って順番にいちごを詰めていくなどの練習は、職業訓練にもなります。1つのプースに1つ入れようなどのアレンジも可能です。



自然と使えるようになる  
「やさしいボタン」



ボタンのどこを持つのかを伝えるのはとても難しいのですが、このボタンは裏面に指が引っかかりやすい加工がされています。表面は指にフィットする形状に。ボタンを挿むことの手触りを自然と覚えることができます。



742-816 他 p.102 掲載  
¥1,600 ~ (税込¥1,760 ~)

## コンパクトパーテーション

当時の価格は5万円程度だったパーテーション。高価でデザイン性があるとは言えないのに年間一定数が売れていました。そこで学校でのマーケティングをしたところ、必要とする子どもたちが多数いることがわかり、もっと見た目がよく安価で導入しやすいものを目指しました。

### 製品のこだわりポイント

- 機能性特化
- 現場の意見を反映

「集中するために視野を守る」ことに  
着目！



723-014 他 p.403 掲載  
¥7,800 ~ (税込¥8,550 ~)

# 感覚統合器具の パイオニア

- 導入の相談
- 点検、修理のお問合せ
- 認定インストラクターによる  
オンラインセミナー など

オンラインにてご相談承ります。  
感覚統合器具特設ページを  
ぜひご覧ください。

**パシフィックサプライ株式会社**  
〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1  
TEL.072-875-8008

特設ページは  
こちらから

## “よい教材”があれば、子供は安定する!

学校ソーシャルスキルフラッシュカード

アンカーコントロールトレーニングキット

五色ソーシャルスキルかるた

**教育技術研究所**  
The Institute for Teaching-Skill Sharing

〒142-0064  
東京都品川区旗の台2-4-12 TOSSビル  
**TEL.03-3787-6564**  
TOSS オリジナル教材  
<https://www.tiotos.jp>

# 特別支援 アイデア教材 50

大塚特別支援学校の  
実践から生まれた  
作り方・活用法

大反響!  
今すぐ使える!

1日5分! 発達支援ポスター  
いつでも  
**ビジョン  
トレーニング**  
大好評  
発売中

佐藤義竹 [著] 筑波大学附属  
大塚特別支援学校教諭  
気持ちメーター、時計カード、朝の会進行表...  
日常生活・自立活動・教科学習に  
役立つアイデア満載!

北出勝也 監修  
スキマ時間に楽しく眼の運動!  
「見る力」を伸ばして子どものやる気と  
自信を育てよう! ●2750円(税込)

A3  
サイズ  
6枚組

すべて  
コピー&  
ダウンロード  
OK

合同出版 SINCE 1955  
私たちは、「知り・考え・行動」するための情報を発信し続けます。  
〒184-0001 東京都小金井市関野町1-6-10  
<https://www.godo-shuppan.co.jp>  
在庫照会・注文受付 ☎ 048-291-9412  
FAX 048-291-9414

# スノーズレン 資格認定講座開講!

**スノーズレンとは**  
1970代にオランダの重度知的障がい者施設においてやすらぎの活動やリラクゼーションの一手法として始められた活動です。スノーズレンの語源はオランダ語の「クンクン匂いがかぐ」と「ウトウト居眠りをする」の合成語からなり、今日では、世界中の福祉施設や学校、病院、個人宅などでさまざまな障がい者や病気のある人々などを対象としたレクリエーションや教育・セラピーの方法として広く活用されています。

講座内容の詳細及びお申し込み等は、ISNA 日本スノーズレン総合研究所のホームページ (<http://snoezelen-research.jp/>) に公開する予定です。  
また、講座受講に関するお問い合わせは、研究所メールアドレス (E-mail: [snoezelen.jsri@gmail.com](mailto:snoezelen.jsri@gmail.com)) で、資格認定統括講師である頭までご連絡ください。

## スノーズレン資格認定講座の事前情報

開催日時: 2023年8月3日(木)、10日(木) 両日とも10時~16時30分  
開催場所: 国立特別支援教育総合研究所  
参加対象: 特別支援学校及び特別支援学級の教職員  
資格称号: スノーズレン専門支援士(特別支援)  
受講料: 35,000円  
(通常価格50,000円をトライアル開催と言うことで初年度のみ減額致します。)  
最低開講人数: 5名 最大受講定員: 10名 ※定員になり次第締め切ります。

ISNA 日本スノーズレン総合研究所のホームページ (<http://snoezelen-research.jp/>) にて、スノーズレン資格認定講座申込みフォームのリンクよりお申し込みください。右のQRコードで資格認定制度のページに入ることができます。

**担当講師**

東洋大学教授  
ISNA 日本スノーズレン総合研究所会長  
**嶺 也守寛**  
ISNA-Suisseにてスノーズレン国際資格を取得 (Formateur Snoezelen)  
ISNA-mse  
世界のスノーズレン教育者に認定

神奈川県立小田原支援学校 自立活動教諭  
ISNA 日本スノーズレン総合研究所認定 SV 講師  
**小玉 美津子**  
大学院 保健医療学研究科修士課程修了: 修士(保健医療学) 理学療法士(小児専門)  
神奈川県内の肢体不自由児施設等で長年療育に携わった後、支援学校3校で主に自立活動教諭として担当する。

## 2学期に向けて 楽しく学力アップ!

デジタル教材  
新製品

学年を超えての学びが必要な 支援学級や  
不登校支援 にも最適

**クラウドライト版 小学生パック**  
【14タイトル使い放題!】単品でのご購入より 4,800円 お得!  
1ユーザー/年 6,000円 (税込6,600円)  
・ランドセル 小学1年~6年・デジドリル小学1年~6年  
・きつずタイピング for School・今日からタッチタイピング2

**クラウドライト版 小・中学生パック**  
【17タイトル使い放題!】単品でのご購入より 7,700円 お得!  
1ユーザー/年 7,000円 (税込7,700円)  
・ランドセル 小学1年~6年・デジドリル小学1年~6年  
・きつずタイピング for School・今日からタッチタイピング2  
・デジタルスタディ 中学1年~3年

1ユーザーから購入可能!  
学校・学級単位で導入できます  
詳しくはお問い合わせください。

GIGAスクール学習ソフト  
**がくげい** GIGASCHOOL  
〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋 7-12-6 グレーシィ天神橋ビル 2号館  
**(06) 4801-8412** <https://www.gakugei.co.jp/school>